

資料

経営学部カリキュラムに関するアンケート調査報告

寺 岡 寛
向 日 恒 喜

I はじめに

1. 背景

中京大学経営学部では平成15年度から新カリキュラムを導入したが、それに先立ち、経営学部の学生に対し、アンケート調査を実施し、カリキュラムや講義に対する学生の意識を調査した。調査内容の一部は、経営学部10周年記念シンポジウム（2003年2月8日に実施）において報告がなされたが、今後、継続的にカリキュラムを検討していく上で、また大学教育を考える上で、貴重なデータであることから、集計結果を資料として公開することとした。

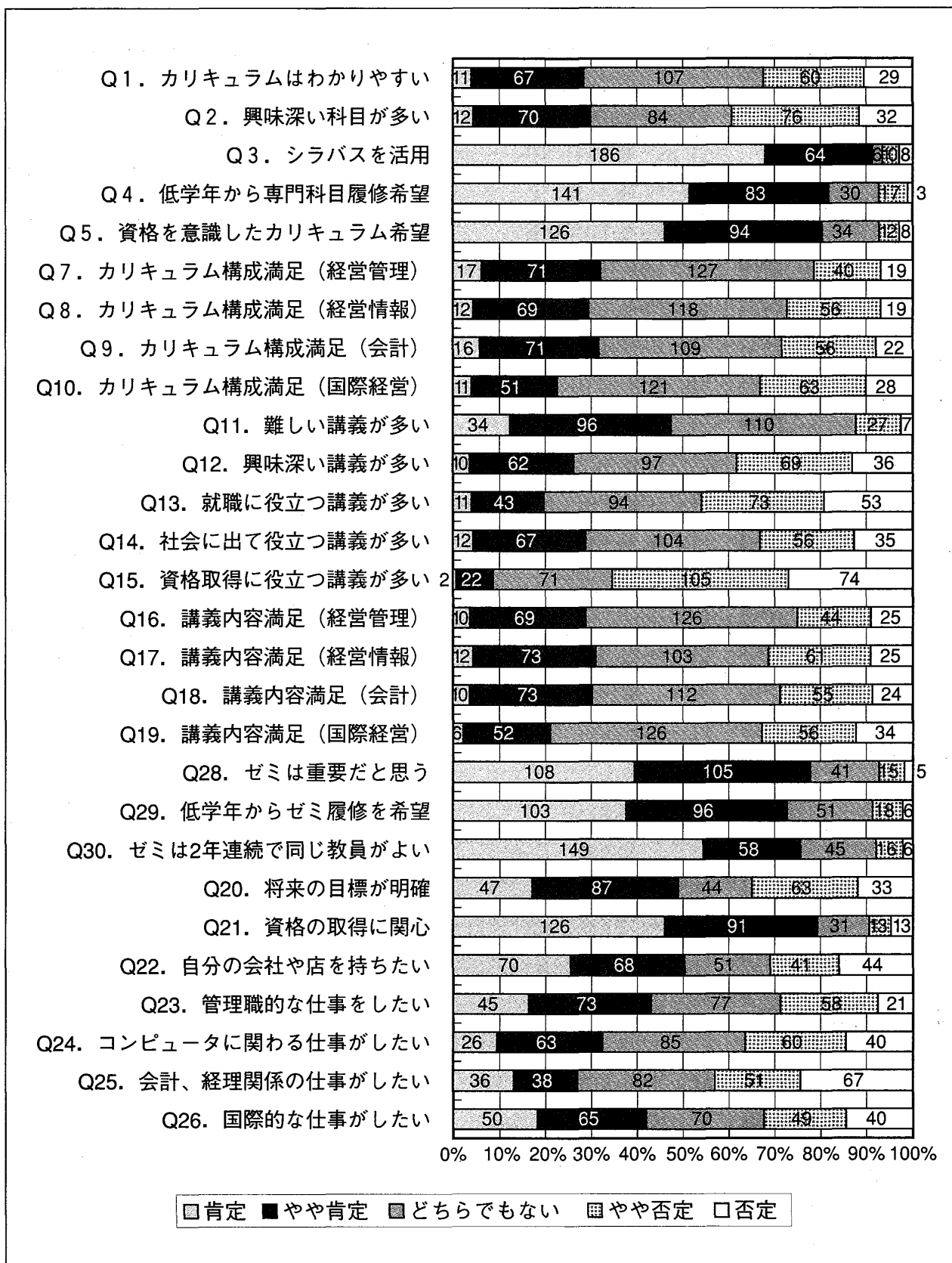
2. 調査の概要

調査票は、経営学部のカリキュラムや講義内容に対する評価、個人の目標や関心に関する項目、などから構成されている（付録参照）。調査は2002年11月に実施され、演習の担当教員を介して、演習の履修生を中心に調査票が配布された。319名の学生から回答が回収されたが、そのうち分析を進めるに当たって有効な274名の回答を分析対象とした。

II 単純集計

単純集計の結果を図1に示す。ただし、複数回答の質問と、回答学生の内訳は表1に示す。回答学生は3年と4年で、その比は約2：1であり、男女比も約2：1である。出身高校は多くが普通高校であり専門高校出身者は1割弱となっている。講義には7割から9割出席した学生が最も多く、ほぼ10割出席した学生もみられる。

図1 単純集計結果



※グラフのラベルは人数を示す

表1 複数回答項目および回答学生内訳

Q 6. 興味ある科目群（複数回答）		Q31. これまでの講義への出席割合	
①経営管理論	92	① 3割以下	7
②経営情報学	80	② 3割から5割	38
③会計学	73	③ 5割から7割	80
④国際経営	82	④ 7割から9割	103
Q27. 将来の希望職種（複数回答）		⑤ほぼ10割	46
①建設業	7	Q33. 学 年	
②製造業	38	1年	0
③運輸・通信業	36	2年	0
④卸・小売業	92	3年	181
⑤金融・保険業	48	4年	93
⑥不動産業	17	Q34. 性 別	
⑦情報関連	54	男性	182
⑧教育関連	23	女性	92
⑨公務員	34	Q35. 出身高校	
⑩その他	43	普通高校	252
Q32. 在学中に取得した資格（複数回答）		専門学校	22
①宅建	8	※単位：人 ※有効回答者総数：274	
②行政書士	8		
③秘書検定	35		
④カラーコーディネーター（2、3級）	17		
⑤簿記（1、2、3級）	69		
⑥シスアド	14		
⑦販売士	68		
⑧TOEFL（480）、TOEIC（550）	6		
⑨その他	24		

1. カリキュラム

カリキュラムのわかりやすさ（Q1）については、肯定意見、否定意見は、ほぼ同数であり、科目の興味深さ（Q2）では、やや否定意見が多い程度であり、全体的には良くも悪くもない、と言える。低学年から専門を学びたい学生が多くなっているが（Q4）、新カリキュラムでは、この意見に配慮し、一年から専門科目を履修できるように改正した。また、資格を意識したカリキュラムを希望する学生が多くなっている（Q5）。

経営学部のカリキュラムの柱である「経営管理」「経営情報」「会計」「国際経営」の科目群ごとにカリキュラムの満足度をたずねたが（Q7～10）、やや「国際経営」で満足度が低いものの、ほとどの科目群も、肯定意見と否定意見が同数となった。

2. 講義内容について

講義の難易度について (Q11) は、「やや難しい」「どちらでもない」と答えた学生が多く、全体として、やや難度が高いといえる。これは学生にとって適度に高度な教育内容が提供されていると解釈できる。講義が社会に出て役立つかどうか (Q14) については、肯定意見と否定意見はほぼ同じだが、内容の興味深さ (Q12) については、やや否定意見が多い。また、就職に役立つ講義は少ないと答える傾向がみられる (Q13)。学生の興味や講義に対する認識が、必ずしも企業や社会が学生に必要としている知識と重なるわけではないが、学生の認識を理解していく努力は必要であろう。

資格取得に関しても講義は役に立たない、と答える傾向が強い (Q15)。特に、Q5に見られたように、資格教育への要望が強くなっているが、それに十分対応できていないのが現状である。専門学校と異なる、大学教育の独自性を維持しながら、どのように資格へのニーズに応えていくのかを模索する必要がある。

科目群別の満足度 (Q16~19) は、カリキュラム満足度とほぼ同様の傾向を示している。すべての科目群において、カリキュラム、そして内容の満足度を上げられるよう、更なる改善が必要である。

ゼミナールに対する意見についてもたずねたが、ゼミナールは重要であり (Q28)、低学年からゼミナールを履修したい (Q29) と答えている学生が非常に多い。アンケートをゼミナール履修者から回収したことからゼミナールに対する評価が高くなっている可能性があるが、少なくとも履修した学生がゼミナールの重要性を再認識していることは事実である。新カリキュラムでは学部専任教員によるゼミナール入門を、1年、2年でも数多く開講するようにしたが、今後も、より効果的な運営方法を検討していく必要がある。

3. 目的意識について

将来の目標がある程度明確な学生は約50%であるが (Q20)、ある程度資格に関心がある学生の割合が約8割となっている (Q21)。長期的な目標は不明確であり、まずは目の前の資格という目標に目を向けている学生が数多くいることを示している。

具体的な目標としては、自分の会社や店を持ちたい (Q22)、管理職的な仕事をしたい (Q23)、国際的な仕事がしたい (Q26)、と答える学生が多くなっている。

4. 複数回答項目

複数回答の質問項目についても検討を行なう。興味ある科目群 (Q6) はどの科目群も同じように興味を集めている。新カリキュラムは、これらの科目群を基礎として、「企業経営管理」「国際経営」「経営情報」「会計・ファイナンス」の4つの科目群を設置したが、このような4つの科

目群によって、学生のニーズをバランスよく満たすことが可能だと思われる。将来の希望業種（Q27）では、卸・小売業関係が最も多く、情報関連や金融・保険業などが続いている。在学中に取得した資格（Q32）は、簿記と販売士が多くなっている。これに対し、シスアドや、TOEFL、TOEICなどの語学関連の資格は少ない。情報関連や国際経営関連の講義に興味のある学生が多くいる一方で、それらに関連する資格の取得者は少なくなっている。

Ⅲ 相関分析

上記の関心や目的意識がしっかりしている学生は、どのようにカリキュラムや講義を評価しているのだろうか。そこで目的意識（Q20～Q26）と、カリキュラム評価（Q1、2、5、7～10）や講義内容評価（Q11～19）との各質問項目間の相関分析を行なった。これらの質問項目は5段階評価となっており、各質問に対して肯定的な回答を5点、否定的な回答を1点として得点化した。

1. 目的意識とカリキュラム評価

目標が明確な学生は、カリキュラムがわかりやすく、興味深いカリキュラムが多い、と答える傾向があり、目的意識を持っている学生はカリキュラムに対して高い評価を下す傾向がある。目標を持っていない学生には、カリキュラムは魅力的に映っておらず、学生に目標を与える機会を提供する必要がある。資格に関心がある学生も、同様にカリキュラムがわかりやすく、興味深いカリキュラムが多い、と答える傾向があるとともに、当然ながら資格を意識したカリキュラムを希望する傾向がある。

将来、会社や店を持ちたい学生、管理職的な仕事をしたい学生、コンピュータに関わる仕事をしたい学生では、カリキュラムの評価に対して際立った傾向は見られない。これに対し会計関連の仕事を希望している学生は、全般にカリキュラムに肯定的な評価を下す傾向が見られる。特に、会計関連のカリキュラムだけではなく、経営管理や経営情報関連のカリキュラムに対しても高い評価を下す傾向が見られる。現状のカリキュラムは会計関連の職に就きたい学生からの評価が最も高いと考えられる。また、国際的な仕事がしたい学生は、国際経営のカリキュラムに高い評価を下す傾向が見られる。国際経営のカリキュラムの評価は、全体で集計した際には他の科目群よりもやや低い傾向が見られたが、そのカリキュラムのターゲットの学生からは高い評価を得られている。

2. 目的意識と講義内容評価

目標が明確な学生、資格に関心のある学生は、講義内容に対して特に際立った評価を下す傾向

は見られない。しかしながら、将来の具体的な目標に関しては、会社や店を持ちたい学生以外は、それぞれ独自の講義内容の評価を下す傾向が見られる。

管理職的な仕事に就きたい学生は、講義内容が易しく、また興味深い、と答える傾向がある。将来、企業組織の中で管理職に就きたいとの目標を持つ学生にとっては、経営学部の講義内容は意義深いものとなっている。コンピュータ関連の仕事に就きたい学生は、経営情報とともに会計関連の科目にも満足する傾向が見られる。同様に会計関連の仕事に就きたい学生は、会計とともに

表2 目的意識とカリキュラム評価及び講義内容評価との相関分析結果

	目的意識						
	Q 20 将来の目標が明確	Q 21 資格の取得に関心	Q 22 自分の会社や店を持ちたい	Q 23 管理職的な仕事をしたい	Q 24 コンピュータに関わる仕事がしたい	Q 25 会計、経理関係の仕事がしたい	Q 26 国際的な仕事がしたい
カリキュラム評価							
Q 1. カリキュラムはわかりやすい	0.15*	0.13*	-0.04	0.03	-0.03	0.05	-0.03
Q 2. 興味深い科目が多い	0.14*	0.12*	-0.01	0.07	0.02	0.15*	0.04
Q 5. 資格を意識したカリキュラム希望	0.05	0.45**	0.01	0.07	0.02	0.12*	-0.05
Q 7. カリキュラム構成満足 (経営管理)	0.03	0.05	-0.06	0.06	0.01	0.12*	-0.01
Q 8. カリキュラム構成満足 (経営情報)	0.04	0.02	-0.09	0.09	0.07	0.20**	-0.05
Q 9. カリキュラム構成満足 (会計)	0.09	0.09	0.04	0.06	0.03	0.13*	0.03
Q 10. カリキュラム構成満足 (国際経営)	0.05	0.00	0.11	0.07	-0.06	0.01	0.18*
講義内容評価							
Q 11. 難しい講義が多い	-0.06	0.07	-0.07	-0.13*	0.00	-0.06	-0.03
Q 12. 興味深い講義が多い	0.11	0.06	0.03	0.14*	0.11	0.21**	0.09
Q 13. 就職に役立つ講義が多い	0.09	0.02	-0.01	-0.02	0.11	0.12	0.06
Q 14. 社会に出て役立つ講義が多い	0.07	0.05	-0.01	-0.02	0.07	0.12	0.09
Q 15. 資格取得に役立つ講義が多い	0.11	-0.07	0.04	-0.09	0.05	0.10	0.04
Q 16. 講義内容満足 (経営管理)	-0.02	-0.01	-0.11	0.00	0.06	0.10	0.05
Q 17. 講義内容満足 (経営情報)	-0.04	0.01	-0.11	0.07	0.12*	0.20**	-0.02
Q 18. 講義内容満足 (会計)	0.01	0.08	-0.08	0.05	0.13*	0.21**	0.08
Q 19. 講義内容満足 (国際経営)	0.02	-0.05	0.04	0.04	0.05	0.01	0.24**

* : p<0.05、** : p<0.01

に経営情報関連の科目にも満足する傾向が見られる。これらの学生からは、経営情報と会計が密接に関連している様に認識されている可能性がある。加えて、会計関連の仕事に就きたい学生は、経営学部の講義全体に対して興味深い内容が多いと答える傾向が見られる。

国際関連の仕事をしたい学生は、国際経営関連の講義に高い評価を下す傾向がある。カリキュラムと同様、講義内容についても、国際経営関連はターゲットの学生から評価が得られているようである。

IV おわりに

以上、学生のカリキュラム等に対する意見を集計し、その結果について検討した。特に目的意識との相関分析の結果、何らかの目的や目標を持っている学生が、カリキュラムや講義内容に満足する傾向が見られたことから、学生に目標を持たせることが、今後の課題の一つと考えられる。学生は社会に出た経験がないため、学生の大学教育に対するニーズが、必ずしも社会の大学教育に対するニーズと重なっているわけではない。そのため、大学は、学生の満足を高めるために、すべての学生の要求を受け入れる必要があるわけではない。しかし、教育を提供する立場として、学生のニーズを理解しながら、どの要求に答えていくべきかを検討していく必要がある。本調査の結果を手がかりに、さらなるカリキュラムや教育の改善がなされることが期待される。

(付録) 経営学部カリキュラムについてのアンケート

- ・このアンケートは経営学部のカリキュラムに対する学生の声を集めること目的としています。
- ・匿名ですので、感じたとおり正直に教えてください。
- ・正しいデータを得るために、すべての質問に回答してください。
- ・特に断りがない限り、選択肢から適切なものを1つ選び、その番号を○で囲ってください。

「カリキュラムへの評価や希望」

- 1) 経営学部のカリキュラムはわかりやすい
①わかりやすい ②ややわかりやすい ③どちらでもない ④ややわかりにくい
⑤わかりにくい
- 2) 経営学部には興味深い科目が多い
①多い ②やや多い ③どちらでもない ④やや少ない ⑤少ない
- 3) 講義を選ぶ際にはシラバスを活用した
①活用した ②やや活用した ③どちらでもない ④あまり活用していない
⑤活用していない
- 4) 低学年からもっと専門科目を履修したい
①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない
- 5) もっと資格を意識したカリキュラムにしてほしい
①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない
- 6) 経営学部の科目群のうちどの科目群に特に興味がありますか（無回答または複数回答可）
①経営管理論 ②経営情報学 ③会計学 ④国際経営
- 7) 経営管理論系のカリキュラム構成には満足している
①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない
- 8) 経営情報学系のカリキュラム構成には満足している
①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない
- 9) 会計学系のカリキュラム構成には満足している
①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない
- 10) 国際経営系のカリキュラム構成には満足している
①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない

「講義内容への評価」

11) 経営学部の講義は難しいものが多い

- ①多い ②やや多い ③どちらでもない ④やや少ない ⑤少ない

12) 経営学部の講義は興味深いものが多い

- ①多い ②やや多い ③どちらでもない ④やや少ない ⑤少ない

13) 経営学部の講義は就職に役立つものが多い

- ①多い ②やや多い ③どちらでもない ④やや少ない ⑤少ない

14) 経営学部の講義は社会に出て役立つものが多い

- ①多い ②やや多い ③どちらでもない ④やや少ない ⑤少ない

15) 経営学部の講義は資格取得に役立つものが多い

- ①多い ②やや多い ③どちらでもない ④やや少ない ⑤少ない

16) 経営管理論系の講義内容には満足している

- ①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない

17) 経営情報学系の講義内容には満足している

- ①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない

18) 会計学系の講義内容には満足している

- ①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない

19) 国際経営系の講義内容には満足している

- ①満足している ②やや満足している ③どちらでもない ④あまり満足していない
⑤満足していない

「将来の目標」

20) 将来の目標が明確である

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

21) 資格の取得に関心がある

- ①関心がある ②やや関心がある ③どちらでもない ④あまり関心がない ⑤関心がない

22) 将来、自分の会社や店を持ちたい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

23) 将来、管理職的な仕事をしたい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

24) 将来、コンピュータにかかわる仕事がしたい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

25) 将来、会計、経理関係の仕事がしたい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

26) 将来、国際的な仕事がしたい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

27) 将来の希望業種（無回答または複数回答可）

- ①建設業 ②製造業 ③運輸・通信業 ④卸・小売業 ⑤金融・保険業 ⑥不動産業
⑦情報関連 ⑧教育関連 ⑨公務員 ⑩その他（ ）

「ゼミについて」

28) 経営学部のカリキュラムの中でゼミ（演習）は重要だと思う

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

29) 低学年からゼミを履修できる機会が多いほうがいい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

30) ゼミは2年連続で同じ教員から指導を受けるほうがいい

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤そう思わない

「個人について」

31) これまでの講義への出席割合

- ①3割以下 ②3割から5割 ③5割から7割 ④7割から9割 ⑤ほぼ10割

32) 在学中に何か資格を取得しましたか（無回答または複数回答可）

- ①宅建 ②行政書士 ③秘書検定 ④カラーコーディネーター（2、3級）
⑤簿記（1、2、3級） ⑥シスアド ⑦販売士 ⑧TOEFL480点以上またはTOEIC550点以上
⑨その他（ ）

33) 学年

（ ）年

34) 男女

- ①男 ②女

35) 出身高校

- ①普通高校 ②専門高校（商業、工業等）

そのほか経営学のカリキュラムに対して意見等があれば裏面に自由に記入してください